

令和7年度

障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業の導入効果について

当事業所では、「令和7年度 障害者支援施設等におけるデジタル技術等活用支援事業補助金」を活用し、AI技術を導入いたしました。

この度、導入による業務効率化および支援の質の向上に関する実績がまとまりましたので、以下の通り公表いたします。

1. 導入の背景と目的

近年の福祉現場における記録業務の増大に対し、当事業所では「5S活動（整理・整顿・清掃・清潔・習慣化）」を通じた環境改善に取り組んでまいりました。この度、さらなる「支援の質の向上」と「職員の負担軽減」を目指し、AI音声認識端末（PLAUD NOTE）および支援管理システムの導入を実施いたしました。

2. AI導入による具体的な成果

導入前後を比較した結果、事務作業の大幅なスリム化に成功いたしました。

項目	導入前（年間）	導入後（年間）	削減率
総業務時間	9,012 時間	4,172 時間	約 54%削減
作成文書量	14,880 ページ	7,440 ページ	50%削減

- **記録作成の効率化**： AI による自動文字起こし・要約機能を活用することで、1 件あたりの記録作成時間を **60 分から 20 分へ短縮**しました。
- **情報共有の迅速化**： 共有事項をデジタル化し、リアルタイムでの共有を可能にしたこと等で、情報伝達に要する時間を **半減**させました。

3. 確保した時間の活用と支援への還元

今回の AI 導入により創出された年間 **約 4,840 時間** の余剰時間は、以下の活動に充当しております。

- **直接支援の充実**： 事務作業に充てていた時間を児童一人ひとりと向き合う時間へ還元し、より丁寧で個別性の高い支援を実施しています。
- **専門性の向上**： 捻出した時間を活用し、職員の内部研修や共有会議を強化。
- **環境整備の徹底**： 5S 活動をさらに推進し、お子様が安心・安全に過ごせる施設環境の維持・改善に注力しています。

4. 今後の展望

デジタル技術の導入は、私たちの最終的な目的の「お子様とご家族の笑顔」「子どもの最善の利益」へとつながります。今後も最新技術を適切に活用しながら、職員の心身のゆとりを「質の高い支援」へと変え、地域に根ざした信頼される施設づくりに邁進してまいります。

令和8年3月吉日

発達支援 SmileOn